

アクション・プランを実現するための提案 (ハローワークの移管)

群馬県産業経済部労働政策課

1 基本的な考え方

- (1) ハローワーク機能の移管については、当面、一部移管を求めるものとし、全体的な機能の移管については、段階的に進めることとする。
- (2) ハローワーク機能の一部移管については、当面、若者就職支援センター（ジョブカフェぐんま）に、ハローワークの若者就職支援に係る機能を移管して、一貫したきめ細かな支援の充実・発展を図るとともに、産業振興、教育分野との連携を強化する方向で考える。
- (3) 全体的なハローワーク機能の移管については、市町村や関係団体等と十分な調整を行いながら、段階的に進めることとし、概ね3年以内に1か所以上のハローワークを移管することとする。
- (4) 移管された事務の実施に必要な財源等については、国に移管を求める。

2 移管の対象となる機能と一体的な実施のイメージ

若者就職支援機能を強化するため、以下のハローワーク機能を若者就職支援センターに移管するとともに、産業振興や教育分野との一体的な実施により連携を強化する。

(1) 移管の対象となる主な機能

地域の若者の幅広い求職ニーズに応えるとともに、地域の企業が求める人材の育成などが可能となり、雇用政策と企業支援の一体化等が期待できる。

- 全国ネットによる職業紹介業務
- 職業訓練の受講指示等
- 国の助成金業務
- 就職面接会
- 新卒応援ハローワーク

(2) 一体的な実施のイメージ

従来の若者就職支援センターにおけるワンストップで一貫した支援にハローワーク機能を移管することにより、若者に対する地域に密着した総合的な支援が可能となる。

- ワンストップで一貫したきめ細かな支援の充実・発展
- 当面の重点的課題である若者就職支援に係る国と県の重複の解消
- 雇用を生み出す産業振興との連携による雇用政策と企業支援の一体化
- 教育分野との連携によるキャリア教育の充実や厳しい若年就労環境の改善

3 ハローワークの段階的な移管

ハローワーク機能の全体的移管については、一部移管の実績を踏まえ、市町村や経済団体をはじめとする関係団体等との協議を行い、計画的に進めることとし、概ね3年以内に1か所以上のハローワークを移管することとする。

当面の具体的な機能移管と一体的な実施のイメージ

(若者就職支援センター(ジョブカフェぐんま)に係る当面の具体的な機能移管)

若者就職支援の現状

- ・ハローワークとジョブカフェぐんまのメニューが重複
- ・ハローワークには多様な支援メニューがあるが、求職者からすると活用が不十分
- ・ジョブカフェぐんまは、一貫したきめ細かな支援を実施しているが、支援メニューが限定



移管による一体的な実施(県)のイメージ

ハローワーク(国)

ジョブカフェぐんま(県)

【求職者】

- ・就職相談
- ・セミナー・交流会
- ・企業説明会
- ・全国ネットによる職業紹介(求職者)
- ・助成金の支給
- ・職業訓練の受講指示等
- ・就職面接会

ワンストップで一貫したきめ細かな支援

【求職者】

- ・就職相談
- ・キャリアカウンセリング
- ・セミナー・交流会
- ・企業説明会
- ・就職後のフォロー
- ・職業紹介

【企業】

- ・求人企業開拓

【企業】

- ・求人企業開拓
- ・全国ネットによる職業紹介(求人登録)
- ・助成金の支給

- ・新卒応援ハローワーク

【産業】 ・産業振興
【教育】 ・学校教育

○ワンストップで一貫したきめ細かな支援の充実・発展

○当面の重点的課題である若者就職支援に係る国と県の重複の解消

○産業振興や教育分野との連携強化

【求職者】

- ・就職相談
- ・キャリアカウンセリング
- ・セミナー・交流会
- ・企業説明会
- ・就職後のフォロー
- ・全国ネットによる職業紹介(求職者)
- ・助成金の支給(訓練・生活支援給付など)
- ・職業訓練の受講指示等
- ・就職面接会

【企業】

- ・求人企業開拓
- ・全国ネットによる職業紹介(求人登録)
- ・助成金の支給(3年以内既卒者トライアル雇用奨励金、若年者等正規雇用化特別奨励金など)

(全県一区で実施)

- ・新卒応援ハローワーク

+

(企業支援と学校教育との連携強化)

【産業】 ・産業振興
【教育】 ・学校教育

※ 移管された事務の実施に必要な財源等については、国に移管を求める。